

銀賞

ドラムテング

[長野県支部] 小松リフト株式会社 中部カンパニー 長野山梨事業部 望月 隼人

【考案の動機】

フォークリフトのブレーキドラムを脱着時、2 t～4 t車の場合ドラム重量が20 kgを超える為、腰にかかる負担と指の挟まれ等の労災発生要因が懸念されるので、安全かつ安価な治具を検討し、本特殊工具を考案した。

【考案の内容】

[改善前]



従来はハブの下に枕木を置き、手でドラムを支えながら抜き出していたが、指の挟みこみと腰への負担等安全性に問題があった。

[改善後]

ドラムテング仕様

ベース： ガレージジャッキ 2.25 t (市販品)

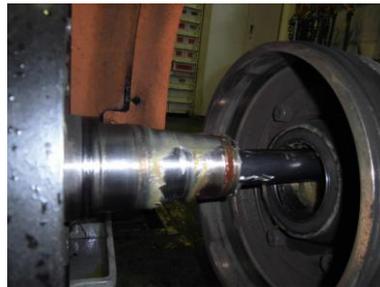
パイプシャフト： t3.5- 1370mm

ブラケット： 平板 9mm×65mm (曲げ115° 150°)

*それぞれ接合は溶接付



① ジャッキで高さ調整しホーシングに直接パイプシャフトを差し込む。



② そのままドラムをシャフトの上を滑らしながら抜く。



転倒防止バー

③ ジャッキを下げ、ドラムを外す。

【考案の効果】

- 1) 作業者の指の挟まれ防止、腰への負担軽減が図れた。
- 2) 作業効率と作業精度の向上。

① インナーベアリングがシャフト上をスライドするので、シールを傷めない。

② シャフトで受ける為、重量物（ドラム）の重心のずれを減らし安定度が高い。